

平成29年度
忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略
効果検証シート

平成30年5月

目次

項目							
対象事業						ページ	
基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.		
基本目標1： 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）	安心して子どもを産み育てられる仕組みの運用	1－①－1 子どもと親の健康づくりの推進	★妊婦・乳児健診の実施	健康福祉部保険課	①－1	1	
			★相談窓口の設置	健康福祉部保険課			
			★子どもの栄養指導	健康福祉部保険課			
			1－①－2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談	★子育てに関する指導・相談（子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等）	健康福祉部保険課、教育部子育て支援課	①－2	3
				★学校教育に関する相談	教育部学校教育課		
			1－①－3 妊娠・出産・子育てに対する支援	★特定不妊治療費の助成	健康福祉部保険課	①－3	5
				★子ども医療費の助成	教育部子育て支援課		
				★忠岡あすなろ塾事業	教育部学校教育課		
			★ひとり親家庭に対する助成	教育部子育て支援課			
		1－①－4 子ども預かり制度の拡充	★延長保育の実施	教育部子育て支援課	①－4	7	
			★待機児童の解消	教育部子育て支援課			
		★放課後子ども教室（キッズクラブ）、児童教室、留守家庭学級の運営	教育部生涯学習課				
		★放課後子ども教室（キッズクラブ）や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催	教育部生涯学習課				
	魅力ある教育の推進	1－②－1 学校における多様な人材の活用	★学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置	教育部学校教育課	①－5	9	
		★小学校への司書の配置	教育部学校教育課				
		1－②－2 英語教育の充実	★忠岡町独自の英語教育方法（忠岡メソッド）の確立	教育部学校教育課	①－6	11	
		★町全体で英語にふれあえる機会の提供（英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等）	教育部学校教育課				
		★外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課				

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
	子育て環境の向上	1-②-3 キャリア教育の推進	★公共施設等の見学の実施 ★職場体験学習の実施	教育部学校教育課 教育部学校教育課	①-7	13
		1-③-1 子育て関連施設の充実	★保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備 ★遊び場所・集いの場の整備	教育部子育て支援課 教育部生涯学習課、子育て支援課、産業まちづくり部建設課	①-8	15
		1-③-2 子どもの安全・安心の確保	★子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援 ★青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	①-9	17
		2-①-1 健康づくりの推進	★各種健康診断の実施と受診状況の把握 ★感染症予防接種の実施と接種状況の把握 ★健康教室やイベントの開催 ★健康相談の実施 ★救急医療機関への助成	健康福祉部保険課 健康福祉部保険課 健康福祉部保険課 健康福祉部保険課 健康福祉部保険課	②-1	19
		2-①-2 高齢者・障がい者(児)等福祉の充実	★関連活動団体への支援 ★高齢者ケアマネジメントの実施 ★障がい者支援のための相談 ★障がい者就労のための支援 ★福祉バスの運行 ★建築物のバリアフリー化	健康福祉部いきがい支援課 健康福祉部いきがい支援課 健康福祉部いきがい支援課 健康福祉部いきがい支援課、産業まちづくり部産業振興課 健康福祉部いきがい支援課 健康福祉部いきがい支援課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課、	②-2	21
		2-②-1 防災対策の充実	★防災・避難訓練等の実施 ★自主防災組織への支援 ★災害備蓄品の充実 ★災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定 ★耐震化のための助成	町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 産業まちづくり部建設課	②-3	23

Ⅲ

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
		2-②-2 防犯対策の充実	★防犯カメラの整備 ★防犯パトロールの強化 ★防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 町長公室自治政策課 町長公室自治政策課	②-4	25
		2-②-3 交通安全対策の充実	★交通安全施設の整備 ★交通安全教室の開催 ★迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	②-5	26
		2-②-4 消防・救急救命体制の充実	★地域の担い手となる若手消防団員の確保 ★消防資機材等の整備	消防本部消防総務課 消防本部消防総務課	②-6	27
	生涯にわたっての生きがいづくり	2-③-1 生涯学習・生涯スポーツの推進	★生涯学習プログラムの実施 ★生涯学習関連活動団体への支援 ★活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支援 ★生涯スポーツ関連活動団体への助成 ★スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	②-7	29
		2-③-2 自治会活動の活性化	★自治会活動への助成	町長公室自治政策課	②-8	31
		2-③-3 地域文化・芸術活動の推進	★町民文化祭の開催支援 ★町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課	②-9	32
	快適で利便性の高い生活の実現	2-④-1 居住環境の向上	★河川環境保全の推進、美化活動団体への支援 ★みどりのカーテン事業等の緑化事業 ★道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動	住民部生活環境課 住民部生活環境課 住民部生活環境課	②-10	33
		2-④-2 生活・都市基盤の整備	★公園等の適切な維持管理、道路等の緑化 ★道路等の公共施設の適切な維持管理 ★上下水道施設の老朽化対策	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部水道課、下水道課	②-11	35

基本目標	基本方針	具体的施策	主な施策	担当部課名	効果検証シートNo.	ページ
基本目標3: 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～	地元企業の発展と住民の雇用促進	3-①-1 企業への支援	★中小企業振興資金利子の補給 ★企業HP作成のための助成 ★小売業振興のための助成 ★忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-1	37
		3-①-2 住民雇用に対する企業支援	★町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課		
	就労に有利な技術獲得、新規創業や女性就業の促進	3-②-1 就業者及び起業・創業者への支援	★就職相談や求人情報の提供 ★就職フェアや就労セミナーの開催 ★労働相談の実施 ★地元就業者の交流の場の提供 ★忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-3	39
		3-②-2 就労に向けた能力向上支援	★国家資格取得のための受験料の助成 ★就職困難者と勤労者のスキルアップのための技術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課		
		3-②-3 女性の働く機会の拡大支援	★就職相談や求人情報の提供 ★資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	③-5	42
基本目標4: 訪れたくなるまち、住みたくなるまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～	住みたい、住み続けたいと感じるインセンティブの付与	4-①-1 定住・移住促進のための支援	★子育て世帯等への住宅取得の助成 ★子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課 産業まちづくり部建設課	④-1	43
		4-②-1 忠岡町の魅力づくりと発信	★ウォーキングコースの整備とイベントの開催 ★地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館)の魅力発信事業 ★みなとマーケットの活性化	教育部生涯学習課 教育部生涯学習課 産業まちづくり部産業振興課	④-2	45
	忠岡町の魅力づくりと発信	4-②-2 忠岡町の魅力発信	★忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及び貸出し ★忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用の促進	産業まちづくり部産業振興課 産業まちづくり部産業振興課	④-3	47

地方創生事業			
事業名	担当部課名	効果検証 シートNo.	ページ
忠岡町ブランド創造事業	町長公室自治政策課	⑤-1	49
泉州地域観光DMO事業	町長公室自治政策課	⑤-2	51

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート【見方】

効果検証シートの番号を記載しています。

No.	①
基本目標	② 4つの基本目標のいずれかを記載しています。
具体的施策	③ 28個の具体的施策のいずれかを記載しています。
決算額	④ 平成29年度に本事業に支出した金額を記載しています。

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

③ KPI		④ H29年度達成率	⑤ 評価※1	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年度または事業最終年度(平成31年度)におけるKPIを記載しています。	年度の達成率を記載しています。	年度の評価を記載しています。	目標値	各年度の目標値または、最終年度の目標値を記載しています。				
			実績値	各年度の実績値を記載しています。				
主な施策		担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
具体的施策で示している主な施策を記載しています。	担当課を記載しています。	決算額	各年度の決算額を記載しています。					
		決算額						
		決算額						

事業目標・概要 【PLAN】	事業の実施を通じてどのような状態になることを目指しているのかを記載しています。
実績 【DO】	前年度中に、具体的にどのような事業を行い、どのようなサービス等を提供したのかを記載しています。
事業内容評価・分析 【CHECK】	前年度の取組について、指標の達成状況や指標で表せない成果等を踏まえて、意図した状態にどのくらい近づいているか、本事業の進捗状況を評価しています。
今後の方向性 【ACTION】	今後の事業の取組方針(改善点、変更点、留意点等)を記載しています。

効果検証会議による評価	
意見	⑧ 平成29年度の取組状況の評価、今後の課題・改善すべき事項などについて、事前に効果検証委員の方より頂いた意見を記載しています。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-1
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)
具体的施策	1-①-1 子どもと親の健康づくりの推進
決算額	13,532,329円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI		H29年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
各種 健診受診率:100%				目標値					100%
	(妊婦健診)	100.0%	◎	実績値		100%	100%		
	(乳児健診)	87.3%	○	実績値		92%	87%		
	(乳幼児・4か月児健診)	101.0%	◎	実績値		98%	101%		
	(乳幼児・1歳6か月児健診)	95.6%	○	実績値		96%	96%		
	(乳幼児・2歳6か月児歯科健診)	84.1%	○	実績値		76%	84%		
	(乳幼児・3歳6か月児健診)	89.5%	○	実績値		90%	90%		

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
妊婦・乳児健診の実施	健康福祉部保険課	決算額		14,992,658円	13,489,704円		
相談窓口の設置	健康福祉部保険課	決算額		0円	0円		
子どもの栄養指導	健康福祉部保険課	決算額		41,635円	42,625円		

事業目標・概要 【PLAN】	泉大津市医師会・泉北歯科医師会忠岡支部等と連携を図りながら、妊婦・乳幼児に対する健康診査や健康相談等の支援体制を充実し、安心して産み育てることのできる母子保健の取り組みを進めます。
実績 【DO】	【府内医療機関委託】 妊婦健診: 受診延べ人数1,191人・乳児健診(1か月児)79人、後期乳幼児健診(9～11か月)88人受診 【保健センター実施】 4か月児健診: 年12回実施: 99人受診・1歳6か月児健診: 年6回実施: 108人受診・2歳6か月児歯科健診: 年6回実施: 106人受診・3歳6か月児健診: 年6回実施111人受診
事業内容評価・分析	妊婦健診については、平成27年度から公費負担額を国基準(116,840円)に引き上げを行い、平成28年度から補助券の単独使用を可能とし、健診にかかる経済的負担軽減

効果検証会議による評価	
意見	・乳幼児・4ヶ月児健診の実績値が101%ですが、実績値が100%を超えることはあるのですか。
総合評価 ※2	

【CHECK】	減を図った。健診においては、受診対象者もほぼ受診しており、乳幼児、妊婦の疾病、障害の早期発見に努めるとともに、子育てや健康に関わる保護者、妊婦からの相談に随時対応し、不安の軽減、問題の改善のための支援を行った。
今後の方向性 【ACTION】	妊婦健診については、公費負担額を国基準に据え置き、妊娠期からの相談体制の強化を図る。乳幼児健診については、今後も継続して実施し、受診しやすく、来所しやすい環境づくり、相談しやすい体制づくりにより一層努めていく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-2			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1ー①-2 妊娠・出産・子育てに対する情報提供・相談			
決算額	8,977,500円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
子育てに関する各種教室参加人数：1,800人／年		182.1%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育てに関する指導・相談(子育て教室、ベビマクラブ、マタニティクラブ等)	健康福祉部保険課、教育部子育て支援課	決算額	8,818,000円	8,977,500円		
学校教育に関する相談	教育部学校教育課	決算額	0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	出産・子育ての不安や悩みを抱えたまま地域で孤立することのないように、身近な相談から専門的な相談、各種教室の開催など、関係機関や地域団体等の連携を強化し、妊娠・出産・子育て関連の情報提供・相談体制を充実します。
実績 【DO】	【保険課】 子育て教室(子どもの遊び場・ママの遊び場・学びの場)参加延人数422人・ベビマクラブ2～4か月児対象:年間11コース(2回1コース)参加延人数254人、5～11か月児対象:年間12回(月1回)参加延人数334人 合計588人・マタニティクラブ年3コース(4回1コース)参加延人数65人・体重測定日11回参加延人数286人 【子育て支援課】 チューリップ保育園において、町の委託事業として子育て支援センターを設置しており、その中でオープンスペース、各種講座等を年間128回実施しており、保護者、子どもの延べ参加人数が1,917人であった。 【学校教育課】 総合相談事業を通しての奨学金等の相談や、学校生活にかかる相談を、随時、年間を通じて実施した(19件)。2学期初旬の土曜日には、奨学金等の説明会及び相談会を実施した。

効果検証会議による評価	
意見	・子育て教室とベビマクラブへの参加者が大幅に増加していますが、何か新しい取り組みをしたのですか。
総合評価	

事業内容評価・分析 【CHECK】	【保険課】 安心・安全なお産のために妊婦とその家庭を対象としてマタニティクラブを開催し、ベビマクラブ、子育て教室や体重測定日を設定することにより、生後早期からの母と子の愛着形成、育児不安を軽減し、子どもの健全な発育発達、保護者の不安軽減に繋がった。 【子育て支援課】 今年度については、KPIの目標値を上回ることができたが、年度により参加者数の増減があることから、年度末に子育て支援センターと町事務局において年間実績を基に会議を開催しており、翌年度に向けた予定などを協議している。 【学校教育課】 年間を通じて、随時、相談体制を整えており、窓口や電話等での相談に対応できている。また、広報ただおか等を通じて、定期的に情報提供ができている。
今後の方向性 【ACTION】	【保険課】 今後も引き続き各教室を開催し、利用促進を行い、安心・安全な出産や子育ての不安や悩みを軽減できるよう、身近な相談から専門的な相談など関係機関と連携し、情報提供や相談体制の充実に取り組む。 【子育て支援課】 チューリップ保育園における子育て支援センターについては、引き続き委託事業として継続をしていく。 【学校教育課】 引き続き具体的な情報提供を行い、相談できる場を周知する。また、相談内容によっては、随時、関係機関との連携を行い、丁寧なサービスを実施していく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-3			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-①-3 妊娠・出産・子育てに対する支援			
決算額	53,081,860円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
不妊治療費助成件数：10件／年		40.0%	×	目標値 実績値
（子育て環境、支援の満足度）就学前保護者：20%		—	—	目標値 実績値
（子育て環境、支援の満足度）小学生保護者：13%		—	—	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
特定不妊治療費の助成	健康福祉部保険課	決算額	186,700円	196,600円	179,300円	
子ども医療費の助成	教育部子育て支援課	決算額	5,718,822円	39,892,743円	35,967,365円	
忠岡あすなろ塾事業	教育部学校教育課	決算額		2,220,000円	4,665,600円	
ひとり親家庭に対する助成	教育部子育て支援課	決算額		10,958,567円	12,269,595円	

事業目標・概要 【PLAN】	国の施策や動向と連携しながら、妊娠・出産・子育てに対する助成など各種支援を行います。
実績	【保険課】 0歳児の数は年々減少している。町独自の不妊治療費助成件数は、平成25年度は12件(妊娠数5件)、平成26年度は7件(妊娠数1件)、平成27年度は17件(妊娠数7件)、平成28年度は15件(妊娠数7件)、平成29年度は11件(妊娠数3件)。また、地方創生分(2回目以降の申請分)平成27年度は5件(妊娠数1件)、平成28年度は4件(妊娠数0件)、平成29年度は4件(妊娠数0件)となった。

効果検証会議による評価	
意見	・他の都道府県では子ども医療費の対象が高校卒業年度末まで行っているところがありますが、忠岡町や大阪府内の自治体の状況はどうか。
総合評価 ※2	

【DO】	【子育て支援課】 子ども医療費の助成については、平成25年4月から入院に係る対象年齢を中学校卒業年度末までに拡充した。通院については、平成26年10月より小学校3年生までに拡充し、さらに平成27年4月より小学校卒業年度末まで拡充を行っている。 【学校教育課】 町立小学校の4年生～6年生児童の希望者を対象に算数、及び町立中学生の希望者を対象に数学・英語の基礎・基本を学べる場を提供し、学習機会の拡充を図った。175名(小学生118名、中学生57名)の児童・生徒が土曜日に年40回参加した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【保険課】 昨年度は、女性のみではなく男性の不妊治療も対象とする制度の拡充を行った。対象者1人に3回申請されている方もいることから高額な費用がかかる不妊治療において妊娠を希望する方の経済的負担軽減を図ることの一助となったと考えられる。 【子育て支援課】 府内市町村の状況を見てみると、平成29年4月現在で43市町村中、35市町村(81%)で通院についても中学校卒業年度末以上となっていることから、早急な対応が求められているものと考えられる。 【学校教育課】 年度末に実施した参加児童・生徒及び保護者対象のアンケートでは、「この塾に通うようになって、学校の勉強がよくわかるようになった」という項目に対して、児童・生徒、保護者とも肯定的な回答が得られた。児童・生徒(86.1%)、保護者(72.1%)
今後の方向性 【ACTION】	【保険課】 晩婚化が進む中で、不妊治療での妊娠を希望する方も多く、今後も制度の拡充を図りながら、事業を続ける必要があると思われる。 【子育て支援課】 平成30年4月から、通院についても中学校卒業年度末までに拡充することにより、子育て支援の充実を図っていく。 【学校教育課】 引き続き、町立小学校児童4年生～6年生を、町立中学校生徒1年生～3年生を対象に、小学生には算数、中学生には数学・英語を学べる場を提供する。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-4			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-①-4 子ども預かり制度の拡充			
決算額	48,002,977円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
待機児童:0人継続		0.0%	×	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)就学前保護者:20%		—	—	目標値 実績値
(子育て環境、支援の満足度)小学生保護者:13%		—	—	目標値 実績値
放課後子ども教室等利用児童数:年7,000人		111.1%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
延長保育の実施	教育部子育て支援課	決算額		31,599,008円	31,413,139円		
待機児童の解消	教育部子育て支援課	決算額		0円	0円		
放課後子ども教室(キッズクラブ)、児童教室、留守家庭学級の運営	教育部生涯学習課	決算額		16,834,431円	16,589,838円		
放課後子ども教室(キッズクラブ)や児童教室における活動発表の場となるイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額		37,800円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世代の女性の働く機会を拡大するために、放課後児童クラブ(キッズクラブ)や児童館の充実など、子ども預かり制度を拡充します。
	【子育て支援課】 平成29年度については、保育士不足の影響により平成19年度以来10年ぶりに年度当初の待機児童が発生し4名となった。さらに、10月時点においては8名の待機児童となった。

効果検証会議による評価	
意見	・保育士不足で待機児童が発生しているが、解消するために何か手立てを考えていますか。 ・平成31年4月に忠岡幼稚園・保育所の一体化を進めているとのことですが、東忠岡幼稚園・保育所の一体化は、いつ頃、予定していますか。

実績 【DO】	【生涯学習課】 放課後子ども教室は、毎週木・金曜日に開催し、食育や防犯教室、ヤクルトグループによる出前講座など様々なプログラムを実施することで子どもの情操教育を行った。また、豊かな人間性を育むために書き方習字、ピアノ、絵画、合唱、パソコン教室など8種類の児童教室を開催するとともにピアノ発表会、児童館フェスティバルを実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【子育て支援課】 今後も保育士不足により待機児童発生の恐れがあるため、早急に幼保一体化を進めて行く必要がある。 【生涯学習課】 待機児童のいない留守家庭児童学級の運営や放課後子ども教室、児童教室を開催することで放課後の子ども達の居場所を確保し安心して子育てできる環境づくりに寄与することができた。
今後の方向性 【ACTION】	【子育て支援課】 平成31年4月開園を目指し、現在幼保一体化を進めている。 【生涯学習課】 引き続き放課後の子ども達の居場所を確保するとともに、キッズクラブや児童教室において多彩なカリキュラムを開催し、豊かな人間性を育むための情操教育を実施する。

総合評価 ※2	
------------	--

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-5			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-②-1 学校における多様な人材の活用			
決算額	8,456,660円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
サポーター等：年間20人		100.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
学力向上や生徒指導のためのサポーター、非常勤講師、社会人等指導者、スクールカウンセラーの配置	教育部学校教育課	決算額	7,308,220円	7,129,780円		
小学校への司書の配置	教育部学校教育課	決算額	1,351,360円	1,326,880円		

事業目標・概要 【PLAN】	児童・生徒の実態や指導のそれぞれの場面に応じて、個に応じた選択学習、個別指導やグループ別指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、繰り返し指導、また、非常勤講師や社会人指導者などの活用も含めた学校教育の充実を図ります。
実績 【DO】	学習面への支援として、小学校1年生・2年生に非常勤講師2人、小学校3年生・4年生に学力向上サポーター2人を各小学校へ派遣した。中学校へは、生徒指導面への支援として、生徒指導サポーター2人を派遣した。また、水泳や書写などの専門的な分野での社会人等指導者5人を活用した。 児童・保護者・教員からの相談業務及び専門的な見地からの支援として、スクールカウンセラーを2人配置した。 小学校の読書活動をより推進するために学校司書2人を配置し、児童の読書への興味・関心を高めた。
事業内容評価・分析 【CHECK】	学校の教職員をサポートすることによりきめ細やかな、個々に応じた指導・支援ができた。学校司書の配置により、本の貸し出し冊数は安定的に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	さまざまな分野でのサポーターを学校現場に活用していくために、幅広く、サポーターを募集していく。

効果検証会議による評価	
意見	・学力向上サポーターとして非常勤講師を小学校に派遣しているということですが、その効果は形になって現れていますか。 ・本の貸出冊数と蔵書数の推移については、どの様になっていますか。また、児童・生徒が図書に興味を持つためにどの様な環境づくりに取り組んでいますか。 ・さまざまな分野とは、学校という環境の中で、どのような内容を想定していますか。サポーターに求める具体的な要件・募集方法・採用条件を教えてください。また、応募見込み数は何件くらいと想定していますか。想定しているならば、その根拠を教えてください。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-6			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-②-2 英語教育の充実			
決算額	10,140,416円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
英検受験者数:500人(年間100人×5年)		156.0%	◎	目標値 実績値
英検合格者数:350人(年間70人×5年)		122.9%	◎	目標値 実績値
英語体験セミナー参加者:750人(年間150人×5年)		139.3%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
忠岡町独自の英語教育方法(忠岡メソッド)の確立	教育部学校教育課	決算額	1,488,672円	945,000円		
町全体で英語にふれあえる機会の提供(英語体験セミナーの開催、英語検定受験料の補助等)	教育部学校教育課	決算額	7,519,417円	5,899,792円	5,095,416円	
外国青年語学指導員の配置	教育部学校教育課	決算額	3,820,000円	4,100,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町全体の取り組みとして英語教育を位置付けて、本町独自の英語教育の普及と発展を推進します。
実績 【DO】	小学校教員・中学校英語科教員を対象に英語指導法セミナーを年間延べ6回実施した。また、中学生を対象に英語能力判定テストを実施し、効果検証を実施している。英語検定受験料補助を、町立中学校生徒108人、町在住中学生・高校生・大学生48人に行った。 町立幼稚園・保育所の5歳児約100人を対象に、英語体験セミナーを年間各園所で6回実施した。 町立小学校1年生～4年生児童の希望者82人に対して、11月～3月にかけて17回の英語レッスンを実施した。 忠岡町バスツアーに町立小学生から中学生までの希望者27人が参加し、留学生に対して、忠岡町の良いところを紹介して回った。

効果検証会議による評価	
意見	・英語検定受験料補助により受験した各級の受験者と合格者は何人ですか。 ・グローバル社会の中で英語は必須であり、ITと並ぶスキルであるので非常に素晴らしいことだと思います。
総合評価 ※2	

	外国青年語学指導員を小・中学校に派遣し、小・中学校の英語教育推進に寄与した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	忠岡町全体として、さまざまな学年に対して、英語に触れる場を提供できた。また、保護者の英語に対する意識も肯定的であった。 英語レッスンに参加した児童の保護者対象のアンケートでは、「英語に興味を持つようになった」という項目に対して、肯定的な回答が得られた。(89.1%)
今後の方向性 【ACTION】	引き続き、英語を体験できる場・英語に興味関心を持てる場を提供していく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-7
-----	-----

基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1－②－3 キャリア教育の推進			
決算額	0円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
職場体験学習等回数：年間3回		100.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公共施設等の見学の実施	教育部学校教育課	決算額	0円	0円		
職場体験学習の実施	教育部学校教育課	決算額	0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	体験型教育を通じて望ましい勤労観・職業観を育てるため、地域の仕事に学ぶ「体験活動」を実施するなど、キャリア教育の視点での学校教育活動を充実し、人間としてのあり方、生き方につながる指導を行います。
実績 【DO】	小学校3年生は、毎年、まち探検として町内の公共施設を見学している。 小学校4年生は、消防署・警察署を見学している。 中学校2年生は、職場体験学習として11月に実施している。
事業内容評価・分析 【CHECK】	児童・生徒の勤労観・職業観を育てるために、必要な情報を提供したり、関係諸機関・庁内関係課とも連携して、体験型教育の充実を図っている。
今後の方向性 【ACTION】	小・中学校9年間の系統立てた指導シラバスを充実するために、研修会等の支援を行い、指導・助言を行う。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-8			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)			
具体的施策	1-③-1 子育て関連施設の充実			
決算額	994,663円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
保育所園庭開放実施:2箇所／年		100.0%	◎	目標値 実績値
保育所園庭開放実施回数:20回／年		55.0%	×	目標値 実績値
保育所園庭開放参加者数:45組・100人／年		53.3%	×	目標値 実績値
		56.0%	×	目標値 実績値
公園遊具等整備保全:22箇所		100.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
保育所(園)・幼稚園の開放・連携・整備	教育部子育て支援課	決算額	0円	0円		
遊び場所・集いの場の整備	教育部生涯学習課、子育て支援課、産業まちづくり部建設課	決算額	306,827円	994,663円		

事業目標・概要 【PLAN】	地域の実情や保護者のニーズを踏まえて、公園の遊具整備や保育所の地域開放など、地域に開かれた子育て支援の場を充実します。
-------------------	---

効果検証会議による評価	
意見	・町内には、小さな子どもが遊べる場所が少ないので引き続き園庭開放の回数を増やして欲しい。また、園庭開放について幼稚園と保育所

実績 【DO】	【子育て支援課】 実績としては、回数、参加者とも大幅に下回っている。この要因としては公立保育所における保育士不足によるところが、大きいと考えられる。 【建設課】公園遊具の維持補修のみ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【子育て支援課】 開催回数の増については、現状の職員体制では非常に難しいことからKPIの達成については困難であると考え。しかしながら、平成29年度から幼稚園においても園庭開放を実施し、2園で年間8回実施し、延べ89人の参加実績があったので、幼保全体ではKPIの達成は出来ていると考える。 【建設課】公園遊具が老朽化しており、更新が必要な状況である。
今後の方向性 【ACTION】	【子育て支援課】 現在、幼保一体化を進めており、こども園化を図っていくことにより、今まで以上の子育て支援の場の充実を目指していく。 【建設課】公園遊具の更新を検討していく。

	を合わせた実績はどの程度ですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	①-9			
基本目標	1 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）			
具体的施策	1-③-2 子どもの安全・安心の確保			
決算額	225,000円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
見守り隊等参加者数：年間2,300人		60.4%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子どもの安全見守り隊等の設置・運営、ボランティアへの支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円		
青少年健全育成のための指導員の委嘱や活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額	225,000円	225,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	子どもの安全・安心を確保するために、「子ども支援ネットワーク会議」を中心に、地域住民や地域団体、関係機関等との連携を強化し、子育て家庭に対する見守りや相談等の支援を充実します。
実績 【DO】	毎週、火曜日・金曜日の下校時に見守り隊によるパトロールを実施するとともに、留守家庭児童学級において、忠岡町役場までの避難訓練時に、子どもの安全を確保するため随行を行った。 非行防止強調月間に合わせて、青少年指導員が駅前において街頭啓発を実施するとともに、毎月定例会終了後に中学校周辺の夜間パトロールや盆踊り大会、祭礼時に町内パトロールを実施した。 見守り隊の隊員の高齢化が進んでおり、新規隊員の確保が課題となっているため各小学校のPTA役員により活動への協力依頼のチラシを通学路を中心にポスティングを行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	下校時の見守りやイベント時に青少年指導員が夜間パトロールを実施したことで、一定の犯罪の抑止効果があった。 隊員の高齢化が進んでおり、新規隊員の確保が必要である。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

子どもの安全確保のため引き続き関係諸団体との連携を図るとともに、地域が子育てに関心を持ち、子どもを見守っていくという意識づけを住民に行い、気軽に活動に参加できるように啓発を行っていく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-1
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～
具体的施策	2-①-1 健康づくりの推進
決算額	76,190,899円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H29年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
各種がん検診受診率:30%			目標値					30%
	(胃がん)	28.8%	×	実績値	8%	9%		
	(肺がん)	16.8%	×	実績値	7%	5%		
	(大腸がん)	21.3%	×	実績値	5%	6%		
	(子宮がん)	73.7%	△	実績値	20%	22%		
	(乳がん)	81.7%	○	実績値	23%	25%		
特定健診受診率:50%			目標値					50%
		53.2%	×	実績値	29%	27%		
健康教室等参加人数:1,000人／年			目標値		1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
		74.4%	△	実績値	689人	744人		

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
各種健康診断の実施と受診状況の把握	健康福祉部保険課	決算額		32,587,497円	34,730,951円		
感染症予防接種の実施と接種状況の把握	健康福祉部保険課	決算額		42,729,116円	38,687,095円		
健康教室やイベントの開催	健康福祉部保険課	決算額		20,000円	0円		
健康相談の実施	健康福祉部保険課	決算額		1,974,500円	2,100,500円		
救急医療機関への助成	健康福祉部保険課	決算額		662,751円	672,353円		

事業目標・概要 【PLAN】	特定健診・特定保健指導の推進や健康、医療に対する意識の高揚などにより、国民健康保険制度の適正な運営と維持を図ります。
実績 【DO】	各種がん検診・特定健診等を5月～3月末の期間で、保健センター及び医療機関にて実施。がん検診の推奨年齢の人を対象に無料検診ハガキを送付し、がん検診受診率向上を図った。特定健診受診率 平成27年度 32.6% 平成28年度の実績値は10月頃でないと確定できないので4月末時点の実績値で評価を行った。前年度同月比で1%減の実績となっている。日曜健診を昨年度からさらに1日増やし受診機会の拡充を図り、未受診者個別勧奨も引き続き行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	がん検診については、受診率は低く、大阪府全体でも低い状況にある。本町は胃がん・乳がん・子宮がんについては、府内平均以上の受診率ではある。受診機会の拡大を図っており少しずつ増加はしているが、低い状況である。特定健診についても、平成27年度に無料化を図り、受診機会の拡大を図ったので、受診率は上昇したが、平成28・29年度と下降傾向にある。
今後の方向性 【ACTION】	がん検診や特定健診については、引き続き、受診日や医療機関の拡大を図りつつ、無料化や未受診者勧奨を行いながら住民一人ひとりの健康意識を高める啓発活動にも努力し、保健事業への積極的参加を促進するよう努める。

効果検証会議による評価	
意見	・各種がん検診と特定検診の受診率について、前年度と同様に受診率が低くでていますので、受診率が高い自治体の事例を参考としてはどうでしょうか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-2			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-①-2 高齢者・障がい者(児)等福祉の充実			
決算額	67,920,723円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
介護予防のため教室利用者数:年間200人		219.5%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
関連活動団体への支援	健康福祉部いきがい支援課 決算額		31,190,117円	32,142,543円		
高齢者ケアマネジメントの実施	健康福祉部いきがい支援課 決算額		28,531,427円	30,992,888円		
障がい者支援のための相談	健康福祉部いきがい支援課 決算額		1,437,500円	1,437,500円		
障がい者就労のための支援	健康福祉部いきがい支援課、産業まちづくり部産業振興課 決算額		204,000円	204,000円		
福祉バスの運行	健康福祉部いきがい支援課 決算額		3,061,944円	3,143,792円		
建築物のバリアフリー化	健康福祉部いきがい支援課、教育部生涯学習課、町長公室自治政策課、 決算額		2,116,800円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	高齢者や障がい者、障がい者(児)の保護者、介護者等からの相談に応じる総合的な相談支援事業の充実を図るとともに、地域の中で自立した生活を営むために必要な情報の提供や施設の整備を推進します。
実績 【DO】	【いきがい支援課】 要支援・要介護の状態となる恐れのある高齢者を把握し、お元気いきいき教室(介護予防教室)を開催し、運動や栄養改善等のプログラムの実践等を通じて、要介護状態になることを予防するための介護予防事業を実施した。また、健康寿命延伸のため、インターバル速歩事業を開始し、歩き方や下肢筋力の向上に寄与するための教室を実施した。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

	【産業振興課】 本町所在の障がい者施設の入所者(約13人)に、当該施設内で完了できる簡易な作業を年間委託して工賃を支払う「忠岡町障がい者就労支援事業」を実施した(H25～継続実施)。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【いきがい支援課】 介護予防教室の開始時と終了時に、参加者の運動能力を測定し、教室の参加によって、どのくらい体力等が改善・向上されたかを参加者に示している。 参加者からは、毎年このような教室を開催してほしいと要望がある。 インターバル速歩事業においてもアンケート調査結果からほぼ全員の方が事業の継続を希望している。 【産業振興課】 町PRグッズの一部作成や販売用グッズの包装等を主業務とし、業務に関っていることを貼付シールで表記し、障がい者の活動が社会資源になることを広くPRしている。 作業可能な入所者は社会貢献を認識して工賃を得ることができ、自立心向上に繋がっていることから施設職員・保護者等から継続要望がある。また、本事業は、大阪府総合相談事業交付金算定の際、創意工夫の事例として加算対象となった。
今後の方向性 【ACTION】	【いきがい支援課】 広く住民の健康や運動意識の向上を図るため、教室の開催頻度を増やすことや講演会の開催を検討する。 また、目標値の引き上げについて検討する。 【産業振興課】 委託する作業メニューの単一化を防ぐため、町PRグッズ以外にも各種啓発物品や学校配布用品等購入の際、完全外注を即決せずに障がい者の作業が入り込める余地を熟考していく。また、他の障がい者関連施設においても就労希望を確認し、社会貢献の認識と工賃獲得が実現するよう支援していく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-3			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-1 防災対策の充実			
決算額	2,486,786円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
防災訓練等参加者数:年間400人		102.5%	◎	目標値 実績値
備蓄食料:18,500食		99.7%	○	目標値 実績値
要支援者のマッチング率:70%		65.7%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防災・避難訓練等の実施	町長公室自治政策課	決算額	134,268円	90,473円		
自主防災組織への支援	町長公室自治政策課	決算額	0円	0円		
災害備蓄品の充実	町長公室自治政策課	決算額	1,483,660円	1,277,575円		
災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定	町長公室自治政策課	決算額	85,937円	73,738円		
耐震化のための助成	産業まちづくり部建設課	決算額	2,135,000円	1,045,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	地域における自主的な「共助」による防災活動を推進するために、自主防災組織への支援に努め、それに必要な情報周知、設備支援や建物の耐震化の助成などを推進します。
実績 【DO】	平成29年度の防災訓練では、はじめて忠岡中学校体育館を使用した避難所開設・設営訓練を実施し(330名参加)、翌2月には防災講演会(80名参加)を実施した。備蓄食料については、必要備蓄数を達成できるよう、計画に基づき1,200食分を購入した。また、いずみの農業協同組合と災害等における食料物資等の供給協力に関す

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

	る協定を締結し、災害用備蓄米として約10,000食を確保した。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定について、マッチング数が88件増加した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	備蓄食料は、いずみの農業協同組合との協定により目標値を達成した。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、現時点でのマッチング率は目標値の6割以上であるが、目標達成のためにはより一層の取り組みが必要である。
今後の方向性 【ACTION】	防災訓練等については、町民の参加を広く呼びかけた上で実施する。 備蓄食料については、賞味期限を迎える食料もあることから計画に基づいて整備を進めていく。 災害時避難行動要支援プランにおける個別計画の策定については、今年度も各地区自治振興協議会にマッチングを依頼し、新たな個別計画の策定を図る。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-4			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-2 防犯対策の充実			
決算額	589,000円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
防犯カメラ設置箇所数: 50箇所		90.0%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防犯カメラの整備	町長公室自治政策課 決算額		825,000円	489,000円		
防犯パトロールの強化	町長公室自治政策課 決算額		0円	0円		
防犯に関する啓発	町長公室自治政策課 決算額		550,000円	100,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	安全で安心な地域社会を実現するため、防犯委員会、警察、関係団体と連携しながら街頭啓発を行うなど、防犯体制の強化に努めます。
実績 【DO】	各地区自治振興協議会において3台の防犯カメラが設置され、補助金を交付した。墓店に合わせ、防犯パトロールを行い、また、広報車で青色防犯パトロールも随時実施した。 春・秋の地域安全運動に合わせ、駅前での街頭啓発、スーパー前でのひたくり防止カバーの取付けを実施した。また、3月にはDVDや落語による防犯講演会を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	防犯カメラの設置については、目標値を達成できるペースで台数が増加している。青色防犯パトロールを実施したことにより、通学時の安全を図ることができた。また、ひたくり防止カバーの普及により、街頭犯罪に対する抑止効果を図ることができた。
今後の方向性 【ACTION】	防犯カメラの設置については、今後も自治振興協議会に対する補助金の交付を行い、台数の増加を図る。また、設置の必要性があると思われる箇所については、自治振興協議会に対して積極的な情報提供を行う。 防犯パトロール及び防犯啓発は効果が見えにくい事業であるが、関係団体との連携を強化すること、及び町民の防犯意識を高めることに主眼を置き、取組みを実施していく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-5			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-②-3 交通安全対策の充実			
決算額	5,907,600円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
交通安全教室への参加者数(学校・幼稚園保育所での開催を除く):120人／年		90.8%	○	目標値
				実績値
交通死亡事故件数:0件維持		0.0%	×	目標値
				実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
交通安全施設の整備	産業まちづくり部建設課 決算額		3,215,160円	5,907,600円		
交通安全教室の開催	産業まちづくり部建設課 決算額		0円	0円		
迷惑駐輪・駐車に対する指導・啓発、放置自転車の撤去	産業まちづくり部建設課 決算額		0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、家庭・学校・地域・職場などと連携・協力し、各年齢層に応じた交通安全教育の充実に努めます。また、交通安全の推進に関連する各種施策を実施します。
実績 【DO】	春と秋の交通安全運動期間中に、安全運転者講習会、高齢者体験・実践型交通安全教室、高齢者対象の交通安全教室、忠岡幼稚園・東忠岡幼稚園・チューリップ保育園・忠岡保育所・東忠岡保育所・忠岡小学校・東忠岡小学校において、交通安全教室をそれぞれ実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	春と秋の交通安全運動期間中に実施した交通安全教室への参加者は、目標値に少し足りなかった。
今後の方向性 【ACTION】	今後も広く住民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故の防止の徹底を図る。

効果検証会議による評価	
意見	・交通死亡事故が平成28年度に引き続き発生しているが、事故が起こらない様に新たな取り組みをしているのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-6
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～
具体的施策	2-②-4 消防・救急救命体制の充実
決算額	33,566,490円
KPI	H29年度達成率 評価※1
年齢構成割合(40歳以下の団員):60%	88.3% ○ 目標値 実績値
消防団の装備の基準整備率:100%	90.0% ○ 目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域の担い手となる若手消防団員の確保	消防本部消防総務課 決算額		0円	0円		
消防資機材等の整備	消防本部消防総務課 決算額		1,780,531円	33,566,490円		

事業目標・概要 【PLAN】	消防車両及び各種資機材を年次的に整備するなど消防力の強化を図るとともに、将来に向けての体制の維持・強化を図るため、若手消防団員の確保に努めます。また、救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成と救急隊員の育成強化により、救命率の向上を図ります。
実績 【DO】	消防用資機材(空気呼吸器、空気ボンベ、消防用ホース等)及び高規格救急自動車を整備した。若手消防団員を確保するために広報紙による入団促進及び消防団員からの勧誘を実施した結果、5名の新入団により、若手団員が増員した。救急救命士の資格を取得し、1名増の10名体制で救急事案に対応した。また、救急医療週間に合わせ、スーパー前で救命講習会を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	消防用資機材等については、計画に基づいて整備が図られた。若手消防団員の確保については、広報紙による入団促進及び消防団員からの勧誘を実施した結果、若手団員が増員に繋がった。救急救命士養成計画に基づいて派遣し、資格取得者が増加した。

効果検証会議による評価	
意見	・消防団の資機材の充実や団員を増員に努めてほしい。
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

消防車両及び各種資機材を整備し、消防力の強化を図る。各種行事等で、消防団員の入団促進を積極的に実施し、条例定数の45人を確保する。指導救命士の資格を取得し、医師と連携して救急業務に携わる救急救命士、救急隊員、通信指令員等への救急全般の教育、指導及び医療機関との調整等の役割を果たすための知識、技術を修得し、救急体制の充実を図る。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-7			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-1 生涯学習・生涯スポーツの推進			
決算額	3,636,776円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
生涯学習プログラムの参加者数:年間1,200人		136.8%	◎	目標値 実績値
スポーツイベント参加者数:年間3,000人		32.9%	×	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
生涯学習プログラムの実施	教育部生涯学習課	決算額		861,700円	861,700円		
生涯学習関連活動団体への支援	教育部生涯学習課	決算額		877,000円	877,000円		
活動団体の発表と交流のためのイベントの実施支援	教育部生涯学習課	決算額		0円	0円		
生涯スポーツ関連活動団体への助成	教育部生涯学習課	決算額		1,263,000円	1,263,000円		
スポーツイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額		630,580円	635,076円		

事業目標・概要 【PLAN】	ライフステージに応じた学習機会の創出や、多様化する住民ニーズに応える生涯学習や生涯スポーツ推進のための体制づくりを計画的に進めるとともに、生涯学習関連活動団体等の支援・育成を進め、住民と役場の協働による生涯学習推進体制を整備します。
実績 【DO】	文化会館において連続講座延べ56回、単発講座79回の学習プログラムを開催した。新規講座や講座数の増加、土、日曜日の開催、預かり保育を実施したことで参加者数が大幅に増加するとともに若年層の参加者も増加した。 また、町主催によるただおかウォーク、ゲートボール大会、ただおかマラソン大会の開催、スポーツ推進委員協議会と連携を図りチャレンジザウォークやチャレンジザスポーツを開催することで住民の健康促進を図った。なお、町民体育大会については、衆議院議員総選挙と同日となったため中止となった。

効果検証会議による評価	
意見	・若年層の参加者が増加したとあるが、平成28年度と比較するとどの程度増加したのですか。 ・文化会館では、様々な講座が開催されているようですが、どのようなプログラムに参加者が集まったのですか。
総合評価 ※2	

事業内容評価・分析 【CHECK】	新規講座や、土、日曜日の開催、預かり保育を実施したことで、参加者が大幅に増加し、ライフステージに応じた学習機会の創出や多様化する住民ニーズに応えることができた。 ウォーキングイベントは、NHK関西ラジオで紹介されたことから、参加者が141人(H28)から231人(H29)へと大幅に増加するとともに、ウォーキングの習慣を身につけることに寄与することが出来た。
今後の方向性 【ACTION】	住民ニーズに応じた多種多様な講座やスポーツ・レクリエーションを実施していく。 また、若年層の方が講座に参加しやすいよう、今後も土・日曜日の開催や子どもの預かり保育を行うなど工夫し、参加しやすい環境の整備を図っていく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-8			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-2 自治会活動の活性化			
決算額	350,000円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
自治会加入率:80%		92.1%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
自治会活動への助成	町長公室自治政策課 決算額		485,000円	350,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	地域におけるふれあいや連帯感を高め、日常やいざという時に助け合うことができるコミュニティが形成されるよう、様々な機会を通じてコミュニティ意識の醸成に努めるため自治会活動への支援を図ります。
実績 【DO】	7地区の自治振興協議会において、自治会への加入を促進する事業として地域の人々が交流できるイベントが開催され、地域住民の触れ合いにより、各地区自治会加入率の向上を目指した。 自治会で把握している各地区の世帯数をベースに算定した平成29年度の自治会加入率は73.7%(平成28年度は73.1%)となった。なお、加入世帯数は5,117世帯(平成28年度は5,078世帯)であり、39世帯の増となっている。
事業内容評価・分析 【CHECK】	自治会加入率は、対前年度比として平成27年度は155世帯、平成28年度は85世帯の減であったが、平成29年度には39世帯の増となった。 これは、本事業により自治会離れに一定の歯止めをかける効果はあったものと評価できる。
今後の方向性 【ACTION】	各地区自治振興協議会においてこういった事業が自治会への加入に結びつくかを検討されているが、次年度は今年度と異なる新たな事業に取り組まれるよう依頼し、自治会への加入を促進する有効な取り組みを模索する。有効と思われる取り組みがあれば、翌年度以降の事業に活かせるよう、各自治振興協議会に情報提供を行う。

効果検証会議による評価	
意見	・平成29年度は具体的にどのような事業をされたのでしょうか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-9			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-③-3 地域文化・芸術活動の推進			
決算額	0円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
町民文化祭の来場者数:年間 1,400人		80.9%	○	目標値 実績値
町民音楽祭の来場者数:年間180人		77.8%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町民文化祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円		
町民音楽祭の開催支援	教育部生涯学習課	決算額	0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	地域における文化創造の担い手である住民の自主的で多様な活動を振興するため、住民が日常生活の中で文化活動に取り組める機会や場の充実に努めるとともに、住民が多種多様な文化・芸術を楽しめる機会を拡充します。
実績 【DO】	10月中旬～11月上旬まで文化会館において、忠岡町文化協会主催による子ども作品展、一般作品展など文化祭を開催し、10月29日に各クラブの発表会としてふれあいフェスティバルを実施したが、当日は台風の影響による大雨となったため例年と比べ観客数が減少した。また、11月19日に町内で活動する音楽関係団体の出演と中国楽器の二胡奏者をゲストに迎え町民音楽祭を開催した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	文化協会の活動を支援することにより文化・芸術にふれあう機会を創出し、住民の交流の場を提供することができた。
今後の方向性 【ACTION】	忠岡町文化協会が自主的な活動ができるよう、引き続き支援を行う。

効果検証会議による評価	
意見	・音楽祭の来場者数が減少しているが要因は何か。 ・文化協会が自主的な活動ができるよう、支援を行うとあるが具体的に何ををするのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-10			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-④-1 居住環境の向上			
決算額	201,773円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
個人清掃ボランティア新規登録数:10人(年間2人×5年)		400.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	2人	2人	2人	2人
	2人	8人		

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
河川環境保全の推進、美化活動団体への支援	住民部生活環境課	決算額	258,000円	180,000円		
みどりのカーテン事業等の緑化事業	住民部生活環境課	決算額	74,000円	21,773円		
道路や公園等の屋外広告物の撤去及び美化運動	住民部生活環境課	決算額	0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	みどり豊かなまちづくりを進めていくため、道路や河川などの緑化を図るとともに、身近な緑化運動などを通じた意識の高揚や公共空間での美化活動を推進します。
実績 【DO】	河川生物調査等でのデータ収集、河川パトロールの実施、生活排水対策や河川美化の啓発活動等を行った。 児童館、北出浄水場においてゴーヤ45ポットの植栽を行い、日陰により室内温度の上昇を抑える緑化事業を実施した。 自治振興連絡協議会の協力のもと、町全域において年2回(6月、11月)の清掃活動を実施(収集ごみ量約6.9トン)し、違法屋外広告物の撤去(3枚)を行った。 清掃ボランティアによる道路、公園等の清掃(ごみ袋3,600枚配布)に対し支援するとともに、清掃ボランティアとして7人と1団体の新規登録があった。
事業内容評価・分析	環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努めることにより、河川水質が改善している。 地球温暖化防止活動の一環として壁面等につる性植物などを植栽する環境にやさし

効果検証会議による評価	
意見	・自主的な美化清掃活動を支援するとありますが、具体的に何を支援するのですか。
総合評価 ※2	

【CHECK】	い身近な取り組みの普及促進が図られた。 地域における美化活動の推進により、環境美化に対する意識、マナーの向上が図られた。
今後の方向性 【ACTION】	河川環境保全については、今後も大津川水域水質保全対策協議会に参画し、環境保全の推進、河川の監視事業、啓発事業を始め、身近な河川の環境保全、環境維持に努める。 緑のカーテン事業については、実施場所の拡充を図る。 今後も道路、公園等の公共施設における、個人、地域、ボランティア団体等の自主的な美化清掃活動を支援し、環境美化に対する意識、マナー向上のための啓発活動の充実に努める。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	②-11			
基本目標	2 住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～ 子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～			
具体的施策	2-④-2 生活・都市基盤の整備			
決算額	142,490,067円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
公共施設等長寿命化計画の策定		100.0%	◎	目標値 実績値
水道管の更新箇所:3路線、総延長1,060m		—	—	目標値 実績値
		—	—	目標値 実績値
下水道人口普及率:97%		100.0%	◎	目標値 実績値
水洗化率:90%		98.3%	○	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体的見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公園等の適切な維持管理、道路等の緑化	産業まちづくり部建設課 決算額		18,231,518円	18,376,810円		
道路等の公共施設の適切な維持管理	産業まちづくり部建設課 決算額		17,619,181円	19,545,267円		
上下水道施設の老朽化対策	産業まちづくり部水道課、下水道課 決算額		79,267,680円	75,188,640円		
下水道の普及促進	産業まちづくり部下水道課 決算額		45,880,990円	29,379,350円		

事業目標・概要 【PLAN】	都市基盤整備の促進、調和のとれた住宅開発などが行われるよう、都市計画法、国土利用計画法、都市公園法などの法制度を適切に運用し、道路や下水道、公園・緑地などの計画的な整備を進め、生活環境の向上を図ります。
-------------------	---

効果検証会議による評価	
意見	・大阪広域水道企業団に統合されるということですが、統合後も、この総合戦略で掲げられている目標値は企業団に引き継がれるのですか。

実績 【DO】	【建設課】公園の定期的な清掃と樹木の剪定を実施。道路については、町道中道新開通り線の水路蓋及び舗装の一部改修、その他老朽化した舗装の補修を実施した。 【水道課】 中央線水道管更新第2期工事(第2工区)を実施し、基幹管路(忠岡東1丁目地内)の更新及び耐震化が図られた。 【下水道課】 下水道人口普及率については、97%まで達成。汚水整備延長工事(39.0m)を行った。水洗化率向上については、下水道整備区域の世帯について、戸別訪問を行い、水洗化についての状況調査を実施。町広報に随時掲載し、啓発を行った。水洗化に対する改造助成金(5件、100千円)を交付した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【建設課】限られた予算の中、適切な維持管理に努めた。 【水道課】 下水道管布設に伴う復元工事を行ったため、計画どおりの延長は更新できなかったが、復元工事を含め水道管の更新を図ることができた。 【下水道課】 下水道人口普及率は、実績値97%、水洗化率は、実績値88.5%で順調に推移している。
今後の方向性 【ACTION】	【建設課】老朽化した公園設備や道路舗装の改修に努める。 【水道課】 基幹管路の更新及び耐震化を計画どおり進める。 【下水道課】 国の補助金等を効率的に活用し、更なる下水道整備を進める。 水洗化率向上対策として今後も啓発活動を継続する。

総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	③-1			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-①-1 企業への支援			
決算額	1,544,565円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
補助事業利用件数: 70件		115.7%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
中小企業振興資金利子の補給	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,321,905円	1,128,066円		
企業HP作成のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円	50,000円		
小売業振興のための助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		300,000円	300,000円		
忠岡町特産品の展示	産業まちづくり部産業振興課 決算額		64,468円	66,499円		

事業目標・概要 【PLAN】	商工会と連携を図り、企業の経営改善や体質の強化などに向けた相談支援・指導体制を充実します。また、地域産業の育成を図るため、地場産品や新商品の販路拡大に向けた支援を行います。
実績 【DO】	中小企業振興資金利子の補給申請(34事業者)、企業HP新規作成の補助申請(1事業者)、30万円助成する小売商連合会加盟数(34事業者)、庁舎内・駅構内での特産品展示コーナー利用(12事業者)、計81事業者であった。また、昨年度に企画担当及び商工会と共に「産業連絡会議」を開催し、町内産品のPR及び販路拡大を図るため、「ふるさと納税返礼品」として事業拡大し、現在も継続中である。
事業内容評価・分析 【CHECK】	上記の主な施策を実施する中で、「ふるさと納税返礼品」の地場産品希望数は予想以上の結果を得たことから、販路拡大や特産品PR等の支援手法については、庁内各部署及び商工会との連携が重要であることを認識した。
今後の方向性 【ACTION】	中小企業振興資金利子補給制度の継続と、全支援策の実施時期や事業内容等の周知徹底に最善を尽くすとともに、町内企業の現況や要望等を把握し、今後の事業実施の手法や改善点等にも留意していく。

効果検証会議による評価	
意見	・平成29年度のふるさと納税額及び件数は、また、どのような返礼品が人気があったのですか。 ・補助事業を利用した各産業別の件数は。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No. ③-2

基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～
具体的施策	3-①-2 住民雇用に対する企業支援
決算額	50,000円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H29年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
補助事業者数:10社/年	10.0%	×	目標値 実績値		10社 4社	10社 1社	10社	10社

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
町内企業が町在住の若者を正規雇用した場合の賃金の一部助成	産業まちづくり部産業振興課	決算額		300,000円	50,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	地元企業への住民の就業を進めるために、企業にとってメリットが感じられる支援を行います。
実績 【DO】	町内2事業者から住民の正規雇用者3名の給付申請があったが、うち2名が途中退職したため、規定に沿って1名、5万円の補助を行った。対象となった正規雇用者の年齢は27歳。
事業内容評価・分析 【CHECK】	本事業は実施2年目であるが、昨年は4事業者6名雇用分の申請があったことから、当該戦略事業の1メニューとして継続していくべきと考えている。
今後の方向性 【ACTION】	次年度における事業実施の周知は、町広報・商工会会報等に複数回掲載を実施していく。

効果検証会議による評価	
意見	・この補助事業は、企業側にとってはメリットが感じられないのか補助事業者が1社となっている。今後、企業にとってメリットが感じられるようにする予定はあるのですか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	③-3			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に 応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-②-1 就業者及び起業・創業者への支援			
決算額	2,129,600円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
相談等支援者数:100人／年		272.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円	0円		
就職フェアや就労セミナーの開催	産業まちづくり部産業振興課 決算額		100,000円	100,000円		
労働相談の実施	産業まちづくり部産業振興課 決算額		130,000円	129,600円		
地元就業者の交流の場の提供	産業まちづくり部産業振興課 決算額		200,000円	200,000円		
忠岡町での創業支援	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,500,000円	1,700,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	ハローワークや高石市、泉大津市と連携して就職情報フェアを開催するなど、マッチングの場を設けます。また、若手経営者が交流できる場の提供や、就業者に対する相談機能の強化、町内での創業への支援を図ります。
実績 【DO】	岸和田と泉大津のハローワークから毎週届く求人情報冊子の年間持ち帰り冊数は100冊超、町窓口就労相談19件、泉大津・高石との合同開催の「2市1町泉北就職情報フェア」参加者は32人、「女性起業家応援フェア」参加者は15人、労働相談実施人数は3人、「忠岡町労働者協議会」主催行事参加者は68人、国認定の創業支援事業による支援者は29人、起業・創業支援補助金受給者は6人となった。
事業内容評価・分析	H28年4月の広報紙から、「就労相談」「労働相談」のいずれかの周知を可能な限り毎号掲載し、「ふれあい大会」では啓発物品の配布と就労相談ブースの設置を行うなど、相談体制が整備されていることを繰り返しPRした。相談者数の即刻増加とはなら

効果検証会議による評価	
意見	・達成度が高いため、更に増額し就業者及び起業・創業者への支援を拡充してほしい。
総合評価 ※2	

【CHECK】	ないが、相談業務の継続は根気と周知徹底が必要であり、起業・創業者向けの事業についても手厚い支援体制の継続と周知が必要である。
今後の方向性 【ACTION】	高校や専門学校、大学等、就労直前の最終学歴となる教育機関が存在しない本町では、行政実施の就労相談や支援希望関連の事業は馴染みにくい状況にあるが、周知啓発を繰り返し実施していく。また、本町商工業の活性化のため、今後も起業・創業の掘り起こしを行い、多角的な事業展開が可能なまちづくりに寄与していく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	③-4			
基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に 応じてレベルアップができるまち～			
具体的施策	3-②-2 就労に向けた能力向上支援			
決算額	278,000円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
補助金申請者数:50人／年		38.0%	×	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
国家資格取得のための受験料の助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		168,000円	241,000円		
就職困難者と勤労者のスキルアップのための技術講習等受講の助成	産業まちづくり部産業振興課 決算額		11,000円	37,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある人が安定的に就労・就業できるよう、職業訓練・資格取得などに関する指導や情報提供を行い、受験や講習等に係る経費を支援します。
実績 【DO】	国家資格受験料の助成は14件、技術講習等受講料の助成は5件、計19件の実績となり、在住者11件、在勤者8件であった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	目標人数には達していないが、本事業の前制度(職業能力開発奨励補助金)では申請者がほとんどいないレベルであったことを鑑みると、前年度15件、本年度19件の申請があった意味は大きく、スキルアップ希望者に対する支援策として継続するべきと考える。
今後の方向性 【ACTION】	町広報紙やHPへの掲載と商工会会報に同封するチラシを今後も継続し、本事業の周知徹底を進めていく。

効果検証会議による評価	
意見	・事業主の方からの要望や意見はありましたか。 ・国家資格を取得した割合は。また、どの職種が多いですか。 ・周知を図るため、現行の方法以外の方法について検討してほしい。 ・町内住民の女性の再就職支援と若年層の非正規社員に向けて採用に直結する通信講座などに一部助成してはどうでしょうか。
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No. ③-5

基本目標	3 安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て 世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～
具体的施策	3-②-3 女性の働く機会の拡大支援
決算額	400,000円

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI	H29年度達成率	評価※1		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
受講人数:20人/年	165.0%	◎	目標値 実績値		20人 31人	20人 33人	20人	20人

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
就職相談や求人情報の提供	産業まちづくり部産業振興課	決算額		0円	0円		
資格取得を目的とした専門講座の開設	産業まちづくり部産業振興課	決算額		400,000円	400,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	就労意欲のある女性の就労・就業を支援するために、職業訓練・資格取得などに関する相談や情報提供を行うなど支援の充実を図ります。
実績 【DO】	資格取得を目的とした専門講座は毎年実施しているが、講座内容はこれまでの受講者の要望や社会状況等により決定しており、29年度はファイナンシャル・プランニング(FP)技能士3級講座(5名受講)と調剤事務検定試験対策講座(28名受講)を実施した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	ファイナンシャル・プランニング(FP)技能士3級講座の受講者5名のうち3名が受験した。調剤事務検定試験対策講座の受講者28名のうち26名が受験した。長期にわたる講座であるが希望者も多く、一定期間をかけて知識を習得し資格獲得を目指す希望者が多い。
今後の方向性 【ACTION】	町内企業の意向や雇用情勢等を参考に事業の実施内容を毎年検討するとともに、事業実施前の周知案内等は徹底して行っていく。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	④-1			
基本目標	4 訪れたくなるまち、住みたくなるまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～			
具体的施策	4-①-1 定住・移住促進のための支援			
決算額	6,230,000円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
住宅取得助成申請件数(うち転入世帯数):20件／年(12件／年)		175.0%	◎	目標値
				実績値
		133.3%	◎	目標値
				実績値
住宅リフォーム助成申請件数(うち転入世帯数):10件／年(6件／年)		60.0%	△	目標値
				実績値
		0.0%	×	目標値
				実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育て世帯等への住宅取得の助成	産業まちづくり部建設課 決算額	3,550,000円	4,930,000円	5,660,000円		
子育て世帯等への住宅リフォームの助成	産業まちづくり部建設課 決算額		680,000円	570,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	子育て世帯のニーズを充足することができるよう、各種助成を推進します。
実績 【DO】	子育て世帯等への住宅取得の助成は想定より15件、転入も4件多かった。住宅リフォームの助成は、目標を下回った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	住宅取得に関しては、一定の効果があったと思われる。

効果検証会議による評価	
意見	・住宅取得助成の開始から、多くの住宅が建設されたことにより、本制度は目標に到達したと思います。しかし、住宅リフォーム助成については、転入世帯がないので、今後、どの様に周知していく予定ですか。
総合評価 ※2	

今後の方向性
【ACTION】

住宅取得の助成は本年で3年目となり、一定の効果があったことから、助成制度を完了。住宅リフォームの助成については、次年度の助成制度終了を検討する。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	④-2			
基本目標	4 訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したいまち～			
具体的施策	4-②-1 忠岡町の魅力づくり			
決算額	2,160,554円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
イベント参加者数:600人／年		119.7%	◎	目標値 実績値
正木美術館入館者数:2,300人／年		77.7%	△	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ウォーキングコースの整備とイベントの開催	教育部生涯学習課	決算額	2,951,143円	90,484円	111,664円		
地域の歴史・文化資源(だんじり祭、正木美術館)の魅力発信事業	教育部生涯学習課	決算額		1,430,000円	1,448,890円		
みなとマーケットの活性化	産業まちづくり部産業振興課	決算額		600,000円	600,000円		

事業目標・概要 【PLAN】	地域の歴史・文化的資源を体系的に把握し、魅力ある文化情報として、住民だけでなく町外へも発信します。
実績 【DO】	【生涯学習課】 文化会館講座の親子茶会、悠々学び舎を正木美術館において開催した。 また、大津川河川敷と菅原神社のウォーキングコースと忠岡神社の見学をコースに取り入れたウォーキングイベントやだんじり祭り時に地車連合会と協力し観覧席、模擬店出店、ただお課長グッズ販売のおもてなしイベントを開催し、町の魅力を町外に発信した。 【産業振興課】 フリーマーケット(参加店舗数19)の開催と鮮魚販売に加え、テーブルセットとテントを新調して設置し、来場者の受入体制を整備するとともに、無料試食や漁船による大阪湾無料周遊(参加者計260人)等のイベントも新たに実施し、みなとマーケットは計3回

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

	開催した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	【生涯学習課】 ウォーキングイベントはNHK関西ラジオで紹介されたこともあり、参加者は231人、うち町外は52人となり昨年度(141人うち町外11人)と比べ大幅に増加した。 また、アンケート調査を実施した結果、楽しかった、また参加したいとの声が多く、概ね好評であった。 【産業振興課】 会場は開催時刻前から買い物客で賑わっており、無料試食や大阪湾周遊には家族連れなどが多く参加するなど、来場者の年齢層が広がった。また、新メニューの実演販売やお買い得品タイムセール等の実施により、買い物客が満足感を得やすい仕組みを設定した結果、町外からの来場者も増加中である。
今後の方向性 【ACTION】	【生涯学習課】 町の魅力アップに繋がるイベントの開催とイベント情報誌への掲載を行っていく。 【産業振興課】 漁協側の人件費等の経費削減と、町内行事や各種イベントとの同時開催を避けるため、みなとマーケットは第5日曜日のみとし年3回程度の実施となった。周知徹底を図るため、町広報紙には事前の開催通知と事後の状況報告を掲載し、庁舎内ポスター等の掲示を継続するとともに、その他PR手法についても検討していく。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)効果検証シート

No.	④-3			
基本目標	4 訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したいまち～			
具体的施策	4-②-2 忠岡町の魅力発信			
決算額	1,731,361円			
KPI		H29年度達成率	評価※1	
イベント・デザイン使用回数:50回／年		108.0%	◎	目標値 実績値

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価 ※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

主な施策	担当課名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
忠岡町イメージキャラクターの各種イベント参加及び貸出し	産業まちづくり部産業振興課 決算額		1,050,446円	1,731,361円		
忠岡町イメージキャラクターデザインの有効利用の促進	産業まちづくり部産業振興課 決算額		0円	0円		

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町の魅力を効果的に発信するため、イメージキャラクターの一層の活用を図ります。
実績 【DO】	町行事及び貸出等によりイメージキャラクターが参加したイベントは35件、デザインの使用申請件数は19件となった。
事業内容評価・分析 【CHECK】	これまでの各種報道や町立小学校副読本への掲載等により、町内はじめ泉州地域での知名度は上昇した。イベント時での写真撮影希望者や外部団体からの貸し出し頻度は増加し、各団体や個人によるデザイン活用の相談も増えてきている。本町実施の公的グッズ販売額は386,924円、物販を開始した平成25年以降の累計販売額は2,029,761円となった。
今後の方向性 【ACTION】	町PRはじめ、行政各般においても適宜イメージキャラクターの効果的な活用が定着し、まちづくりのツールとして一層魅力的な存在となっていくよう創意工夫に努める。

効果検証会議による評価	
意見	
総合評価 ※2	

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)新規施策の効果検証シート

No.	⑤-1		
事業名	忠岡町ブランド創造事業		
担当部課名	町長公室自治政策課	補助金の有無	有
補助金名	地方創生推進交付金	補助率	対象事業費の1/2
事業期間	H28.12～H31.3 (3カ年)		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	5,665,520円	10,987,491円	
国庫補助額	2,828,734円	4,639,619円	
KPI 最終目標値 (H30年度)	参画企業数 : 9社 実験栽培の成功種類 : 8種類 売上高 : 12,000,000円		

評価目安※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI項目	H29年度達成率	評価※1		H28年度	H29年度	H30年度
参画企業数	33.3%	×	目標値	2社 (2社)	3社 (5社)	4社 (9社)
			実績値	21社 (21社)	1社 (22社)	
実験栽培の成功種類	100.0%	◎	目標値		3種類 (3種類)	5種類 (8種類)
			実績値		3種類 (3種類)	
売上高	—	—	目標値			12,000,000円
			実績値			

事業目標・概要 【PLAN】	忠岡町商工会を事業推進主体として、忠岡町ブランドとなる「きのこ」を創造するため、大学、金融機関や企業と連携して量産方法、販売ルートやエコ栽培方法などを研究し、町内企業などの参画による「忠岡町ブランド」を全国に発信する。
実績 【DO】	参画希望者の募集を行ったところ1社のみの応募となった。 7月より栽培研究施設においてエコ栽培方法による研究を開始し、3種類(タモギタケ、ヒラタケ、エノキタケ)のキノコの実験栽培に成功した。 広報活動としては、新聞社3社、放送局4社(TV3社、ラジオ1社)より本事業が取り上げられた。 その他には、忠岡町商工カーニバル、食品事業者交流会等への出展や、あましんグリーンプレミアム(尼崎信用金庫主催)に応募した。また、調理学

効果検証会議による評価	
意見	・今後のスケジュール及び具体的な展開を教えてください。
総合評価 ※2	

	校にメニュー開発の依頼を行った。
事業内容評価・分析 【CHECK】	参画希望者は、前年度に21社の応募があり、今年度は1社にとどまったが、総数は22社となり2年間の想定を大幅に超える応募数となった。 エコ栽培方法による実験栽培に3種類成功したが、その中で収穫が速くできるタモギタケを町ブランドとして推進していく方向性を決定した。 新聞社や放送局等に取り上げられたり、商工カーニバルに出展することにより幅広く本事業の広報活動を行うことができた。また、食品事業者交流会に参加し、取引事業者、数社が興味を示した。
今後の方向性 【ACTION】	これからも参画希望者の募集を行い、より多くの方に実験栽培へ参加してもらいエコ栽培技術を習得するとともに、町ブランド(きのこ)に関心を持ってもらう。また、引き続きコーディネーターによる販路開拓を行い、参画希望者に起業を促す。

忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度)新規施策の効果検証シート

No.	⑤-2					
事業名	泉州地域観光DMO事業					
担当部課名	町長公室自治政策課		補助金の有無		無	
補助金名	—		補助率		—	
事業期間	H28.8～H34.3					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
決算額	5,020,670円	0円				
国庫補助額	5,020,670円	0円				
KPI 最終目標値 (H33年度)	訪日外国人における泉州の認知度 : 40% 着地型観光の参加者数 : 年間延べ3,000人(※33年度以降)					

評価※1	
◎	目標値以上
○	目標値の80%以上
△	目標値の60%以上
×	目標値の59%以下

総合評価※2
良好
一部見直しが必要
全体の見直しが必要

KPI項目	H28年度達成率	評価※1		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
訪日外国人における泉州の認知度	—	—	目標値						40%
			実績値	13%	—				
着地型観光の参加者数	—	—	目標値						3,000人
			実績値						

事業目標・概要 【PLAN】	泉州観光プロモーション推進協議会(泉州地域9市4町)を実施主体として、や、関西エアポート(株)等とともに、関西国際空港に近い利点を最大限に生かすための方策について検討し、実行に移すための組織として、(仮称)泉州観光DMOを設立し、経済の活性化、雇用の創出、農業・漁業の振興を目指す。
実績 【DO】	泉州地域への観光誘客を強化するため、泉州9市4町と民間企業が連携して観光振興を図る法人の設立について協議し、平成30年度に「一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー」を設立することが決定した。
事業内容評価・分析 【CHECK】	法人設立により泉州地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりや、客観的情報に基づく観光戦略の策定と戦略を着実に実施する体制を整備することができた。
今後の方向性 【ACTION】	効果の高い取組事業の選択と集中により、泉州地域が一丸となった戦略の策定や推進を行う。また、観光で収益を生む仕組みの構築を行う。

効果検証会議による評価	
意見	・平成30年度に法人を設立するということですが、今後、どのような方向性で進めていくのですか。
総合評価 ※2	